Orientation and Mobility 分科会研修会

Orientation and Mobility **分科会**は、第 28 回視覚リハビリテーション研究発表大会（盛岡大会）で、下記のとおり研修会(事例の検討)を開催致します。

日時：7 月 28 日（日）14 時～15 時　（閉会式後）
場所：盛岡市民文化ホール 第 2 会議室（大会と同じ建物の中、マリオスの建物の 5 階）
定員：40 名（申込みが多い場合は、分科会メンバーを優先します）
申込先: 以下の①から④を明記の上、oandmdivision.jarvi@gmail.com　宛に電子メールを送ってください。①メールアドレス ②お名前（ふりがな）③お住まいの都道府県 ④所属機関

検討予定の事例：
事例１『極めて慣れている駅ホームでの転落 ー歩行訓練・指導において「慣れ」をどう考えるかー』
【概要】数年来、毎日、通勤で利用している駅で発生した転落事例。いつもと同じように乗り換えようとしたところ、いつもは停まっているはずの電車はなく、転落した。慣れてくると、乗換先の電車の存在をだんだん確認しなくなるのは必然の振る舞いかもしれないが、どのように考えればいいのだろうか。

事例２『「視覚障害者・支援者がともに高齢である夫婦世帯」への関わりの１事例』
【概要】高齢化に伴い、視覚障害者当事者も支援する家族も高齢である夫婦世帯の増加が予想される。本研究では、「中途視覚障害者緊急生活訓練事業」の中で、歩行訓練士が介護支援専門員、作業療法士の他職種と連携して生活訓練を実施したことで、夫の介護負担が軽減された支援事例について報告する。